

「福井ふるさと元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井ふるさと元気宣言」に掲げられた政策等を実現するため、次に掲げる施策・事業について重点的に実施することを西川一誠知事と合意します。

平成29年4月

福井県知事 西川 一誠
国体推進局長 国久 敏弘

29年度の施策

1 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に

◇県民総参加の福井国体【部局連携】

○国体と障スポの融合

- ・国体と障スポの融合に向け、国体と障スポの一体的な運営を推進します。また、可搬式の車椅子用トイレの購入や融合を推進する事業への補助など市町への支援を行い、障害の有無にかかわらず広く県民がスポーツに参画できる環境を整備します。
- ・福井国体と全国障害者スポーツ大会の略称を「国体・障スポ」とします。略称を載せた公式ポスターやプロモーションビデオなどを活用し、融合について県民に周知します。また、著名人の協力などを得て、全国へ広めます。**交流拡大施策**

○競技会の開催準備

- ・国体競技会の円滑な運営のため、市町が開催するプレ大会への支援や国体開催に必要な各競技の実施要項をとりまとめます。
- ・市町の既存施設について、本県選手の練習の機会を確保するため、計画的かつ確実な整備を促進します。また、カヌーやトライアスロンなどのプレ大会の開催に向け、特設会場の整備を支援します。
- ・障スポの競技を安全・円滑に運営できる会場整備に向け、競技会場ごとの詳細な利用計画や仮設物の設計図を策定します。
- ・国体・障スポの選手・監督を受け入れるため、宿泊施設ごとの提供客室数や宿泊料金などを決定します。
- ・選手や監督、観客に快適な空間を提供するため、歴史博物館や一乗谷朝倉氏遺跡資料館など社会教育・文化施設のトイレの洋式化などを行います。

○開・閉会式の準備

- ・開・閉会式に向け、式典演技や式典音楽の出演団体を決定し練習を開始します。また、オープニングプログラムに出演する文化・芸術・スポーツなどの団体を公募・選定します。
- ・来場者の安全確保と式典等の円滑な運営を図るため、開・閉会式会場等の詳細設計と警備計画を策定します。
- ・開・閉会式への参加者と観客の送迎を確実に円滑に実施するため、輸送実施計画を策定します。また、国体・障スポ期間中に必要なバス等を市町分も含め確保していきます。
- ・開・閉会式、式典などの業務委託や物品購入について、県内企業や障害者授産施設への発注、県産品の活用などを進めます。

○広報・県民運動の推進

- ・開催1年前イベントや新福井県民歌の普及、ダンスコンテストの開催、公式ダンスソングCDの販売など切れ目なく広報を展開するとともに、テレビや新聞等を通じた発信を増やし、開催機運を一層盛り上げます。
- ・花いっぱい運動やスポーツGOMI拾い、県民募金など、県民が家庭や身近な地域で国体・障スポに参加できる機会を提供します。
- ・全国からの来県者に本県の食文化や伝統産業、歴史の魅力をアピールするためのイベントや美術館などの特別展を、文化プログラムとしてとりまとめます。

○ボランティアの確保

- ・運営ボランティアを確保するため、社会福祉団体や企業などに協力を要請します。また、福井の魅力などに関する研修を実施し、来県者のおもてなしに活かします。
- ・聴覚障害のある選手などへの手話や要約筆記を行う情報支援ボランティアを確保し、登録者への研修を実施します。また、協力校が実施する選手団サポートボランティア養成研修を支援します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
情報支援ボランティア登録者数(累計)	—	502人	600人	600人
選手団サポートボランティア登録者数	—	—	—	800人